

学科名	ＩＴスペシャリスト科
コース名	
授業科目	情報系資格対策講座 7
必選	必
年次	4 年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	60
単位数	4
担当教員	白幡
実務経験	有
実務経験職種	システムエンジニア
授業概要	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。
到達目標	情報処理技術者試験に合格することを目指す。経営者の方針を理解し、経営を取り巻く外部環境を正確に捉えるための動向や事例を知ることが合格水準であり、合格すると企業就職後の即戦力、中核的人材となる素質をもつことを証明でき、システム開発においては設計～運用・保守において上位者の方針を理解し、自ら技術的問題を解決できるようなワンランク上のＩＴエンジニアになるために必要な技術的知識が得られる。
授業方法	情報処理技術者試験に合格することを目標に、試験範囲の講義に加え、過去問演習、解説を行う。習熟度確認のための小テスト、e-ラーニングによる家庭学習課題等、授業の進捗に合わせて適宜実施し、評価に組み入れる。また、前回の講義内容を理解し習得済みであることを前提とした講義を行う。理解不足は放置せず、復習してから講義に臨む必要がある。
成績評価方法	目標としている試験への取り組み状況、試験申し込みと受験の実績、および可否の結果を総合的に評価する。
履修上の注意	資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	資料を配布する

授業計画	
第1回	ガイダンス、基礎理論（本講義の意義を理解する。また、試験概要、出題範囲について知る。基数変換、負数表現などの知識確認をし、過去問題を解くことができる）
第2回	アルゴリズムとプログラミング（情報技術者試験における頻出アルゴリズムを覚え、過去問題を理解して解くことができる）
第3回	ハードウェアと構成要素（コンピュータの種類や動作原理、周辺機器の種類と役割について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第4回	マネジメント（システム開発の流れ、PM、監査、サービスマネジメントについて学び、過去問題を理解して解くことができる）
第5回	ソフトウェア（計算問題を中心に学び、過去問題を理解して解くことができる）
第6回	データベース（SQL、DBマネジメント、正規化などについて学び、過去問題を理解して解くことができる）
第7回	ネットワーク（ネットワーク方式・データ通信と制御・通信プロトコル・ネットワーク管理・ネットワーク技術について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第8回	セキュリティ（モラル、セキュリティについて学び、過去問題を理解して解くことができる）
第9回	システム開発技術（システム開発技法について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第10回	ストラテジ（企業活動の目的や経営管理、組織についてや、企業会計や労働、取引関連法規について学び、過去問題を理解して解くことができる）
第11回	過去問題演習(1)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（ストラテジ系の対策を万全にする））
第12回	過去問題演習(2)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（マネジメント系の対策を万全にする））
第13回	過去問題演習(3)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（テクノロジー系の対策を万全にする））
第14回	過去問題演習(4)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（午後問題対策を万全にする））
第15回	過去問題演習(5)（過去問題の演習、解説を実施し、合格を目指す（総合問題演習を行い合格ラインの点数を取る））